

がなく、省エネ設計で、節電対策にも有効。

同社/TEL03(5)275(0)123。

専用のUSBキーを、校内であっても自宅であつても、パソコンに挿すだけで、学校のファイルサーバに接続し、安全に校務ができるシステムである。持ち運ぶのは、メモリ領域のないこのUSBキーだけで、万が一紛失したり盗難に見舞われたりしても、情報漏洩を防ぐことができる。

都教委は、児童生徒の成績や生活歴などの個人情報保存されたUSBメモリの紛失事故などがあるごとに、注意を喚起し、機密性の高い情報の取り扱いについて、校内でも厳しく規制する情報セキュリティ対策を講じている。

中央区教委が導入したUSBキーは、通常のUSBメモリや暗号化USBメモリとは異なり、鍵として自宅や校内から完全に学校のサーバに接続するシンクライアントのシステム。使用するパソコンへの保存や印刷を抑制する機能を実装している。

リモートデスクトップとは違い、サーバに直接アクセスして使用するのので、リモートデスクトップでの作業のように、接続先と接続元の2台のパソコンを立ち上げる必要

## 情報漏洩事故防ぐUSBキー SASTIK III アカデミック版



### 東京都中央区教委が導入

万が一紛失したり盗難に遭つたりしても、情報漏洩はゼロ――。

東京都中央区教委はこのほど、学校現場での情報漏洩事故のリスクを低減する(株)サスライトのセ

キュリティシステム「SASTIK III Thin Client Layer アカデミック版」(写真)を、区内の小・中学校教職員640ID分導入した。